

世界史

(分析は一般入試Aの問題のみです)

出題傾向

入試日程	大問	出題分野・テーマ	難易度
2/3	問1～問26	様々な都市に関連する歴史的事象	やや易
2/4	問1～問26	ユダヤ人や朝鮮半島に関連する歴史的事象	標準
2/5	問1～問26	古代から現代における様々な地域の歴史的事象	標準

いずれの日程においてもリード文のない一問一答形式で出題されており、それぞれの設問で問われている内容に関連性はない。全26問で構成されており、解答形式はすべてマークシート方式である。出題形式は、4つの語句から適切なものを選択する問題、2つの語句の組み合わせ問題、4つの短文の正誤判定問題、4つの出来事の年代配列問題と様々である。全26問中20問または21問で正誤判定問題の形式がとられており、重点的な対策が必要だといえよう。なお、地図や写真などの図版を用いた出題はない。

古代から現代まで幅広い時代の知識が問われており、日程によって多少の差異はあるものの、出題されている時代に極端な偏りはないといえよう。朝鮮戦争、ベトナム戦争、中東戦争など第二次世界大戦後の出来事に関する設問も見受けられるため、現代史までしっかりと知識をつけてほしい。出題されている地域は、ヨーロッパ、アメリカ大陸、中国・朝鮮半島といった東アジア、インド・東南アジア、イスラーム世界など広域である。苦手な地域をつくらないようにバランスよく学習を進めることが大切である。出題されている分野は政治史が中心であるが、文化史や交易などに関する社会・経済史からの出題もあるため、資料集を活用し整理しておこう。

問題の難易度は標準的で、問われている内容は概ね教科書レベルの基礎知識である。ただし、正誤判定問題の中には歴史的事象の背景・原因・結果・影響の正確な理解を要する設問もあるため、重要語句の表面的な暗記に終始した学習をしていると高得点をとることはできない。歴史的事象の「理解」に重点をおいて学習してほしい。

世界史

(分析は一般入試Aの問題のみです)

学習対策

- 計画的に学習を進め、全時代・全地域の基礎知識を身につけよう。

椋山女学園大学の入試では様々な時代・地域に関する問題がバランスよく出題されている。極端に細かな知識を問うような難問は出題されないため、未学習の時代や苦手な地域をつくらぬよう意識しながら、全範囲の基礎的知識を身につけることが合格への着実な道である。まずは教科書を精読しつつ用語集などで知識を補足し、各時代・地域の歴史的事象について背景・原因・結果・影響などをしっかり理解しよう。特に現代史については学習時間を十分にとることができず、曖昧な理解のまま入試当日を迎えることがないよう学習計画をしっかりと立ててほしい。また、メキシコやオアシス都市など学習が疎かになりやすい地域に関する出題も見受けられる。アメリカ史や中国史などに関連して教科書に記述があった際には丁寧に確認し、地域史としてまとめておこう。

- 常に時間軸を意識して学習しよう。

椋山女学園大学の入試では直接的に年号を問う問題は出題されていない。しかし、どの入試日程でも年代配列問題が出題されている。この形式の設問は各日程で1～2問と少ないものの、苦手としている受験生が多いため、得点に差がつく設問といえよう。また、正誤判定問題の中にはイギリスのアジア進出における東インド会社設立やブラッシーの戦いの時期、冷戦期における東南アジア諸国連合（ASEAN）結成の時期に関する知識が誤文だと判断する根拠になるような問題も出題されている。細かな年号の暗記までは求められていないが、「何世紀の前半に起こった」、「どの王の治世の出来事である」といったことを常に意識しながら学習し、このような問題にも対応できるようにしてほしい。

- 正誤判定問題の演習を行い、知識をもとに考える力を養おう。

前述したように椋山女学園大学の入試は全体の7～8割が正誤判定問題で構成されており、この形式の問題の対策をしていない受験生は合格点をとることができないだろう。ぜひ、正誤判定問題の対策に重点をおいた問題集を1冊購入し、演習を行ってほしい。その際、誤文についてはどの部分が誤っているのか、どのように書き換えれば正しい文章になるのか考えながら問題を解くことが大切である。誤文の根拠がわからなかった選択肢は必ず用語集などで調べ、自分の知識をさらに深めよう。このような演習を繰り返すことで、特に正誤性が問われやすい部分を把握するとともに、徐々に消去法などを駆使しながら正文を絞ることができるようになる。

また、学校の定期試験では教科書に沿って時代ごとに問題がつくられることがほとんどであるが、椋山女学園大学の入試では「カイロについて」などテーマが設定され、1つの設問の中でオリエント史・イスラーム史・第二次世界大戦と異なる時代の知識が問われる正誤判定問題が出題されることがある。問題集を購入する際、巻末にテーマ史の演習問題がついているようなものを選ぶと対策がしやすいだろう。問題演習を通してこういった形式の出題にもあわてることなく選択肢を読み、柔軟に知識を活用し、明確な根拠のもと正答を導けるような実力をつけてほしい。